

事業体（団体）名	横浜市水道局
事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2024年10月21日～11月15日
主催機関	国際協力機構（JICA）、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	横浜市水道局では、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を契機として、JICAへ協力して、課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」コースの受入を開始しました。約1か月のコースで、令和6年度までに16回実施し、32か国から159人を受け入れています。（オンラインのみの研修2回を除く） アフリカでは、現在も多くの国で水道事業に関する課題を抱えており、参加国の多くは、浄水処理した水量のうち30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。 水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量・水質などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行っています。参加者は、講義や実習で学んだことを踏まえて研修の中で自らの課題解決のための活動計画を策定し、自国に持ち帰って自らの取組に繋げます。 【令和6年度の具体的な研修の内容】 令和6年度は約1か月間に及ぶ来日研修中、研修員は浄水処理や配水管理を始め、料金管理や顧客管理など、水道事業全般について学びました。
対象（相手）国・機関名	令和6年度の研修員 6名：ケニア、コートジボワール、スーダン、タンザニア、ナイジェリア、マラウイ
写真	
  図面管理講義 メーター器差試験	

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	JICA技術協力プロジェクト「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト」
実施期間	2019年6月～2024年12月
主催機関	国際協力機構（JICA）、株式会社協和コンサルタンツ、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	横浜市水道局では、令和元年6月から令和6年12月までJICA技術協力プロジェクト「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト（LiSCaP）」に職員を派遣するなど、プロジェクトを支援しました。 横浜水ビジネス協議会会員である株式会社協和コンサルタンツ及び横浜ウォーター株式会社と連携し、チーム横浜で、マラウイ水事業の改善に取り組みました。 プロジェクトでは、無収水（漏水や盗水などの収入につながらない水）を削減するための計画の策定、削減手法の習得、それらの知見の共有・発信などを指導しました。 【令和6年度の具体的な活動の内容】 令和元年度から4年度にかけて長期専門家を派遣しており、6年度は5年度に引き続き、7月と11月に短期専門家を派遣し、長期専門家の現地業務をサポートしました。 6月にはプロジェクト成果の国内展開を図るため、マラウイ国内の5つの水道事業体を対象としたワークショップが開催され、当局職員がオンラインで無収水削減計画について指導しました。
対象（相手）国・機関名	マラウイ国リロングウェ水公社（LWB）

写真



現地派遣活動

事業体（団体）名	横浜市水道局
事業名称	パキスタン国ファイサラバード上下水道局との技術交流の覚書事業
実施期間	2019年10月～
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	横浜市水道局は、横浜ウォーター株式会社と連携してJICA開発計画調査型技術協力「ファイサラバード上下水道・排水マスタープランプロジェクト」（2016年7月～2019年6月）を進める中で、支援先であるファイサラバード上下水道局（WASA-F）の総裁より、人材育成の観点から更なる自治体連携の要望を受けました。相互の人材育成と水ビジネスの促進に資することから、2019年10月に「WASA-Fと当局との技術交流の覚書」を締結し、2020年度からは、オンラインセミナーを開催しています。 2022年度からは、横浜ウォーター株式会社が受託したJICA「ファイサラバード水道事業経営改善プロジェクト」との連携を強化しています。 【覚書の内容】 (1) オンラインセミナーの開催（年1回） (2) 横浜水ビジネス協議会会員企業の技術・製品の紹介 (3) JICA「ファイサラバード水道事業経営改善プロジェクト」との連携 【令和6年度の具体的な研修の内容】 12月に2日間に分けてオンラインセミナーを開催しました。 日程：2024年12月2日、3日 参加者：WASA-F 9名 聴講者：水ビジネス協議会企業 内容：横浜水道の事業概要 横浜水道の拡張工事の歴史 横浜水ビジネス協議会会員企業によるオンラインビジネスマッチングの機会提供
対象（相手）国・機関名	
写真	
 	
覚書締結式 オンラインセミナー	

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	ラオス国 水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2・3）
実施期間	MaWaSU2：2018年 5 月～2023年12月 MaWaSU3：2024年 2 月～2028年 2 月
主催機関	国際協力機構（JICA）
事業概要・目的	ラオスの国家目標達成に向けて『水道セクターの管理体制と水道公社の能力を強化するために必要な基盤が整備される』ことを目的としており、水道行政の改善や水道公社の計画実施能力の強化等を行うため、財政分野における短期専門家の派遣及び同分野の本邦研修の受入を行いました。 本プロジェクトは横浜市を含む 4 地方自治体（埼玉県、さいたま市、川崎市）と、JICAを含む 5 機関で連携して実施しており、2024年 2 月からは後継案件となる MaWaSU3が開始されました。横浜市は引き続き、財政分野における協力をしています。
対象（相手）国・機関名	ラオス国公共事業運輸省水道局、首都ビエンチャン・ルアンパバーン県・カムアン県のパイロット水道公社及び公共事業運輸局、その他の県の水道公社及び公共事業運輸局、ラオス水道協会

写真



短期専門家派遣



本邦研修（浄水場の再整備事業 視察）

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	JICA草の根技術協力事業「インドネシア国北スマトラ州水道公社安全な24時間給水のための能力向上プロジェクト（地域活性化特別枠）」
実施期間	2023年4月28日～2026年4月27日
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	インドネシア国メダン市において、人口増加とそれに伴う水需要の増加に対応した安全な24時間給水の実現に向けて、配水施設の改善提言や配水管理能力向上のための指導、及び浄水場で高濁度水を処理するための能力向上を目的とします。 さらに、本邦の水道関連企業の製品や技術に関する現地ニーズの確認を行い、企業が現地に適応した技術、製品を紹介できるよう支援します。 事業期間中、現地派遣による活動（年3回程度）、本邦研修（年1回）等を実施します。
対象（相手）国・機関名	インドネシア国 北スマトラ州水道公社

写真



現地派遣活動



本邦研修